

ネットワークぎょうせい

平成22年 8月15日発行

発行責任者

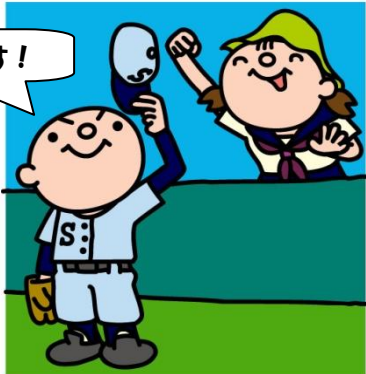
(社)北海道栄養士会行政栄養士協議会

会長 渡辺 健司



新役員が決定致しましたのでお知らせ致します。
2年間、どうぞよろしくお願いいたします！

一生懸命務めます！



会長 渡辺 健司 (北海道上川保健所)

副会長 藤田 美穂 (むかわ町役場)

会計 工藤 綾子 (札幌市厚別保健センター)

書記 京谷 貴子 (小樽市保健所)

幹事 高田 員可 (弟子屈町役場)

幹事 梅津 千恵子 (北海道江別保健所)

幹事 今田 麻子 (厚沢部町保健福祉総合センター)

監査 佐藤 眞生子 (札幌市白石保健センター)

監査 土井 淑子 (当別町総合保健福祉センター)

春期行政栄養士研修会の報告

平成22年5月21日に実施しました研修会について、ご協力頂いたアンケート結果の一部をご紹介します。

出席数： 91名

講義：『満員御礼！人が集まる教室の作り方』

講師：NPO法人男女共同参画おおた 理事長 牟田 静香 氏

研修会の感想

各コメントを抜粋しました！

- ・今まで自分が作っていたチラシ、広報誌のいけなった所がよくわかりました。次回のチラシ作りはガラッと変わりそうです。
- ・対象者を絞る、対象者の立場になって…というのは基本だなあと改めて感じました。勉強になりました。
- ・とても楽しく聞くことができました。“目的を達成させるための手段として～”という話を聞いて、今後の内容だけでなく人を集めるための工夫もしていこうと思いました。
- ・チラシ作りにはいつも苦労しています。ちょっとした工夫でわかりやすいものができるというヒントを頂きました。
- ・対象者を明確にしてゴールを設定するのが効果的だと感じました。2時間半アツという間で、非常に有意義でした。
- ・大変参考になりました。自分の自己満足で健康教室を開催してしまっていることもあったなあと反省しました。今後新しい健康教室を企画する上で参考にさせていただきたいです。

牟田先生には、事業案内のチラシ作成や、アプローチのポイント等を中心に講義して頂きました。栄養士の専門職とは違った業務も意外と多く、戸惑う場面もあるかと思います。今回はそんな業務に活かすスキルアップに繋がりました。

編集者



母子関係

- ① 乳幼児健診の食事指導に関するもの
 - ・面接技術について
 - ・離乳食の具体的な必要性（理論）
- ② 歯科保健に関するもの
 - ・乳幼児、妊婦の口腔ケア・虫歯予防
- ③ 妊婦・子育て世代への食生活支援
 - ・効果的な方法

実践関係（事業・面接等）

- ① 事業の企画・実践に関するもの
 - ・充実した企画法、事業評価の仕方
 - ・食事調査の手法、地域診断の方法
 - ・経費を抑える工夫
- ② 栄養指導に関するもの
 - ・特定健診
 - ・個別・集団ともに講話、健康教育の上手な進め方やポイント
 - ・ポピュレーションとハイリスクのアプローチの連動法
- ③ コミュニケーションのスキルアップに関するもの
 - ・カウンセリング、対話技術、地域栄養士の連携

・・・その他の希望

- ・講師ほか、現場で働く行政栄養士の事例報告など
- ・生化学（脂質の代謝）、臨床栄養（病態）

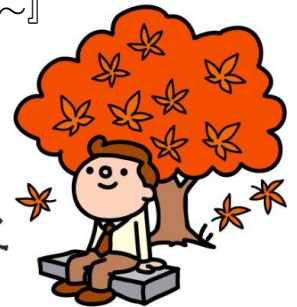
秋期行政栄養士研修会のご案内



日時：平成22年10月22日（金） 9：50～17：00

場所：かでの2. 7 （820研修室）

- 内容： 9：50～ 開会
- 10：00～ 講義：『よく噛む子どもを育てる食の支援～口腔機能の発達と食行動のつながり～』
 講師：札幌市手稲区保健福祉部健康・子ども課
 （北海道歯科衛生士会 副会長）金子 優子 氏
- 13：00～ 講義：『離乳食とベビーフード～安全・安心をお届けするために～』
 講師：キューピー株式会社研究所健康機能R&Dセンター
 栄養食品グループ チームリーダー 白男川 太一 氏
- 14：15～ 事例報告・グループワーク
- 17：00～ 閉会



お知らせ

●これまで発行しておりました【ネットワークぎょうせい】は、この8月号をもちまして紙発行を終了致します。次号（23年1月号）からは、北海道栄養士会のホームページへ掲載いたします。ホームページには研修会等、行政栄養士に関する情報も掲載予定です。どんどんアクセスしてくださいね！

北海道栄養士会ホームページ



●今年度の会費は納入済ですか？1年間未納となると自動的に退会扱いとなり、再度の加入に入会金が徴収されます。まだお済みでない方は、速やかにお支払いいただきますようお願いいたします。また、お近くに未入会の方がおられましたら、加入の勧奨いただきますようお願いいたします。

編集者後記

8月号を担当致しました厚沢部町の今田です。この場をお借りして、簡単ですがわが町のご紹介を致します！厚沢部町は、農林業が盛んに行われている人口約4,600人の小さな町です。（函館から車で1時間ほどです）“メークイン発祥の地”とされ、現在ではメークインの芋焼酎、洋菓子、また光黒大豆の甘納豆や黒豆茶、味噌など独自の製品も豊富です。道南を訪れる際には、おいしい町・厚沢部へお越し下さい！！